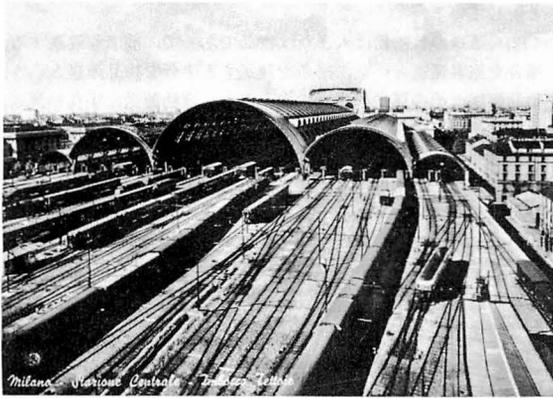


きのように大別される。

1 旅客上家 停車場における旅客の乗降に必要な改集札、通路、待合、乗降場における乗降車および付帯の手小荷物の一



2. イタリア、ミラノ中央駅ホーム上家

時置またはこれらの運搬車用の建物であって、上家構造のものを総称し、それぞれ改集札上家、通路、待合、乗降場、上家、手小荷物一時置上家等と呼ばれる。

2 高架跨線(こせん)上家 連絡船乗降用の通路で、高架跨線式の設備を有する上家構造の建物。

3 乗船上家 連絡船乗降場で高架式の設備を有する上家構造の建物。

3. 上家の諸型式

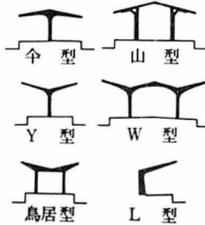
4 連絡上家 鉄道と連絡船との連絡用の高架式でない旅客通路、およびその中継用の手小荷物(郵便物を含む)上家。

5 貨物上家 受託した貨物(発送、到着、小口扱、車扱、中継、一時置および監査等を含む)の収容およびこれらの運搬車用の建物であって、上家構造のもの。

6 用品上家 国鉄事業用貯蔵品(機械、鋼材、木材、修繕品等を含む)を収容する建物であって、上家構造のもの。

7 採炭上家 炭鉱において採炭、選炭等の作業を行いまたは製品等を収容する建物であって、上家構造のもの。

8 その他上家 以上のほか検車上家のように車両整備その他の作業を行うための上家。(藤島 茂)



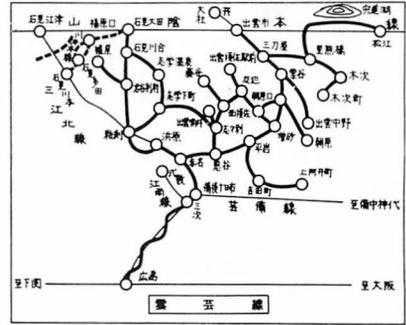
うわやがいかもつ 上家外貨物 車扱貨物の中でホーム扱がつごうがよいが、貨物上家を必要としない貨物のことで、具体的にはつぎの貨物をいう。ただし機械荷役による貨物は地平扱貨物として除かれる。

1 製材、薪、石および石材、鉄、銅、れんが、瓦、牛、馬、豚。

2 積込をする場合の甜菜、竹、原木、電柱。(近藤正弘)

うわやないかもつ 上家内貨物 ホーム扱がつごうがよく、かつ上家を必要とする貨物のことで、小口貨物の全部および車扱貨物の中で上家外貨物および地平扱貨物を除いた貨物ならびにその他貨物のことをいう。ここにいうその他貨物とは鉄道統計年報で主要貨物として指定された以外の貨物のことである。(近藤正弘)

うんげいせん 雲芸線 広島市と島根県出雲市、松江市等を結ぶ陰陽連絡の国鉄自動車路線であって、所管する自動車営業所は出雲市に同支所は島根県飯石郡赤名町にある。



1 区間およびキロ程

雲芸本線	出雲市・広島	171 km
	粟谷・出雲中野	7
	平岩・上阿井町	21
松江線	三刀屋・松江	35
	里熊橋・木次町	2
須佐線	増砂・出雲須佐駅前	16
	朝原口・朝原	2
波多線	恩谷・反辺	19
	西須佐・藤谷	6
志学線	志々別・粕淵	28
大田線	赤名・石見大田	42
	君谷別府・壺谷	6
志学北線	石見川合・志学下町	12

2 沿革

雲芸本線	出雲市・備後十日市	昭9・8・15 開業
	平岩・吉田町	昭25・8・15
	吉田町・上阿井町	昭30・11・25
	備後十日市・広島	昭27・5・1
	粟谷・出雲中野	昭28・2・1
松江線	三刀屋・里熊橋	昭9・8・15
	里熊橋・木次	〃
	木次・木次町	昭10・12・25
	里熊橋・松江	昭27・3・16
須佐線	増砂・出雲須佐駅前	昭27・3・16
	朝原口・朝原	昭31・4・8
波多線	恩谷・反辺・	昭28・5・5
	西須佐・藤谷	昭31・4・8
志学線	志々別・出雲角井	昭28・11・24
	粕淵・志学温泉	昭29・10・21
	出雲角井・志学下町	昭29・12・5
大田線	赤名・石見大田	昭10・9・28
	君谷別府・壺谷	昭32・2・15
志学北線	石見川合・志賀温泉	昭32・6・20
	志学温泉・志学下町	昭29・6・20

3 営業範囲

出雲市・備後十日市間、三刀屋・木次町間および赤名・石見大田間は旅客・手小荷物・貨物の取扱をし、その他の区間においては旅客にかぎり取扱っている。なお団体貨扱は沿線から発着する旅客にかぎり取扱っている。

4 使命

陰陽連絡の使命を有するほか、沿線地方の産業文化の発展助長の使命を有する。

5 特長

本路線は本線、支線を合わせると実に 367km におよぶ長大